市民音楽祭プレイベント

小中学生音楽祭

2/25(土) 市民のための音楽祭開催

小中学生の音楽に対する関心と音楽能力の向上を目的として、「第17回浦添市小中学生音楽祭」が市てだこホール大ホールで開催されました。1月に行われた公開オーディションで100人余の中から選出された児童8人による独奏や独唱、市内小中学校を代表した6校による学年合唱や学級合唱、器楽アンサンブルが行われ、会場を魅了しました。

また、同日の夕方には「市民音楽祭プレイベント」が同ホールで初開催され、第一部は、佐渡山安信氏指揮の市ジュニア吹奏楽団、ジュニアストリングス、アルマンド弦楽合奏団による合同オーケストラ、第二部では大勝秀也氏指揮の県内プロ演奏家とアマチュア演奏家による合同オーケストラが、テレビ・ラジオなどで馴染みのある曲を披露し、小さい子どもから年配の方までの幅広い年齢層の来場者を楽しませました。

2/22(水) 浦添市民憲章実践活動作文コンクール表彰式

「自然を愛し、みどり豊かな街をつくる」など、5項目からなる「浦添市民憲章」の実践活動作文コンクールの上位入賞者表彰式が市役所で行われました。

【最優秀賞】神谷凛、眞榮里花音(ともに神森小6年)／仲間妃奈、石原尚樹、上江洲都乃(ともに当山小6年)／國吉芽依(港川小6年)【優秀賞】新垣日菜、金城愛(ともに神森小6年)／大城龍亮、高那芽生、上原千智(ともに港川小6年)／比嘉蓮菜(港川小5年)／大見謝恒大、池宮城あおい、大城裕香(ともに当山小6年)／髙橋穂乃果(宮城小6年)※順不同、受賞時の学校名・学年を掲載

2/18・19(土)(日) 日頃の学習成果を発表

中央公民館を利用しているサークル・団体などが集い、これまでの学習成果を広く市民に紹介すると共に、市民への生涯学習への理解と参加を促進しようと「第26回中央公民館まつり」が開催され、2日間で約2千人の来館者がありました。

中央公民館では楽器や舞踊、パソコン、絵画、陶芸など現在130余もの多種多様なサークルが活動しており、まつりでは、その舞台発表や展示発表が行われ、にぎわいを見せました。同公民館利用者からは、「サークルを通して友達も増え、気持ちが若返ってくる。他のサークルもチャレンジしたい」などの声がありました。

3/12~16(月)(金) 丹精込めた作品を展示

本市における障がい福祉活動のさきがけとなり、今年4月で創立30周年を迎える社会福祉法人若竹福祉会主催の「わかたけアート展・商品販売会」(後援:浦添市)が市役所1階市民ロビーにて開催されました。

会場は、社会就労支援センターわかたけの利用者による絵画や陶芸などのさまざまな作品が展示され、また、パンやお菓子などの販売会も行われるなど、にぎわいを見せました。

3/13(火) 輝くてだこ市民賞 第10号表彰

【受賞者】幸喜　ひかりさん(浦添工業高校3年生)
【功　績】第33回よみうり写真大賞(主催:読売新聞社)高校生部門　自由の部　大賞(1位相当)

3/13(火) 輝くてだこ市民賞 第11号表彰

【受賞者】ハンドボールジュニアオリンピックカップ沖縄選抜選手(市内中学校出身選手)
與那嶺英路、松川財、森田啓仁、下地利輝、新城裕貴、宮國央芽(ともに浦添中出身)、田里亮稀(神森中出身)、黒島安晃、又吉哲平(ともに浦西中出身)、伊舎堂博武(仲西中出身)。
【功績】第20回JOCジュニアオリンピックカップ2011ハンドボール大会優勝(平成23年12月愛知県にて開催)

3/11(日) こだこ市民大学 研究発表会

市民大学での2年間の学習成果を披露する「てだこ市民大学第2期卒業生研究発表会」がてだこホール市民交流室で開催されました。

発表会では、4学部の代表生8人による全体会と、学部ごとの分科会が行われ、それぞれ特徴あるまちづくりのアイデア等を発表しました。

参加者は、「学んだことを未来に活かすための内容で感心しました」「中味の濃い、とても素晴らしい発表であり浦添市の明るい未来を想像することができました」などと、感想を述べていました。

3/14(水) 子育てアドバイザー認定式

本市が、平成23年度から行っている子育てアドバイザー養成事業のアドバイザー認定式が、市役所で行われました。

この事業は、妊娠期から思春期までの子どもを持つ親の、子育てに関する不安や悩みに対するアドバイスを行い、家庭教育支援と家庭の教育力の向上を図ることを目的としています。

アドバイザーからは、「子育ての楽しさ、成長の喜びが持てるように、子育てのお手伝いをしていきたい」などの感想がありました。

今年度は14人のアドバイザーが認定され、今後、子育てに関する担当課と連携を取りながら活動する予定です。